

箕輪町内会では、令和6年度に 「地区防災計画」



を策定しました!

地区防災計画とは

地区防災計画は、地域住民による自発的な防災活動であり、東日本大震災を契機に平成25年に創設されました。

過去の災害において避難や救命救助などに大きな役割を果たしてきた地域での助け合い、支え合いの「共助の力」を育む取り組みです。

計画策定までの流れ

町内会役員、組長、各種団体などが地域の代表として集まり、過去の被災地支援の実績がある認定NPO法人愛知ネットの協力を得て、ワークショップ（話し合い）を行いました。

参加者で意見交換を行い、令和7年度以降に防災活動の内容を作成しました。

実施内容(ワークショップ3回)

ワークショップ①

地区防災の理想と課題を整理

地域の特徴から地域防災を考えるワークショップ（話し合い）を行い、地域防災の理想（あるべき姿）を考え、「いざという時、頼れる共助、箕輪の輪」をみんなのテーマとしました。



ワークショップ②

災害時の課題に対するアプローチ方法

安否確認、防災訓練、備蓄食料などの災害時の課題から1つを選択して、課題解決に向けた話し合いがなされました。



ワークショップ③

防災活動メニュー企画書の作成

課題解決に向けての具体的なアイデア出しを行いました。



企画書の内容は裏面をご覧ください



箕輪町内会でこれから取り組む「地区防災計画」

グループ

A

町内一斉清掃時の

防災意識の向上



目的

新しく引っ越してこられた方や若い人達にも防災設備の位置などを把握してもらう。

清掃だけではなく、防災の意識を高めてもらう一日にする

⇒自助の啓発（各家庭の防災準備など）

対象者

各世帯1人（できれば小・中・高校生にも参加を促す）

内容

組長、隣組長、評議員が案内係となり、消火栓、消火器、井戸、危険個所を全員で確認する。（町内一斉清掃時）

※案内方法は、組によって一番わかりやすい方法を教えてもらう

協力者

組長、隣近所、評議員で事前に集まり、打ち合わせをする。（マップで確認する）

小中学校などでも案内を配布してもらい、子どもも参加してもらえよう促してもらう。

町内会（回覧板でも案内してもらう）

グループ

B

防災訓練への体制づくり

目的

防災に関わる人材の育成→訓練参加者の増幅

対象者

地域住民

協力者

トイレ→業者

炊き出し→婦人クラブ（時期の検討が必要）

消火訓練→消防団

浄水指導→業者

車椅子→介護施設

内容

各組ごとに訓練担当を持ち、その担当者が訓練指導できる体制を作る。

（例：8か年でトイレづくりが全組できるようにする）

※業者による指導を減らしていく！防災メニューを考えていく。

グループ

C

災害時避難所確認訓練

（防災ウォーキングスタンプラリー）

目的

町内の避難所を理解する事で、災害時の避難を円滑に行えるようにする。
災害は地震を想定する。

対象者

箕輪町民（目標参加者数：300人）

協力者

町内会：企画、準備

町内会役員：組長、体育委員、女性防火クラブ、隣組長

消防団：避難経路（コース）の巡視

内容

●概要について

既存のイベントであるウォーキングスタンプラリーを活用して、町内の避難所をチェックポイントとして設置する。

●コース設定について

河川を避けたルート設定や、ハザードマップを確認して危険な場所を考慮して設定

①地震コース（地震で危険な道、避難場所を巡回するコースなどを検討）

②水害コース（水害時の避難経路を防災訓練で実施する）

グループ

D

みんなで確認！浄水器の使い方！

目的

保管する資機材の取り扱い（浄水器・発電機）を共有し災害時に活用できるようにする

対象者

防災訓練参加者

協力者

・浄水器について…令和6年度実績
フィルター交換、毎年7万円、3年に一度+3万円

・協力者について…納入業者（立ち合い）

内容

●防災訓練で業者から説明を受け、町内会で説明書を作成。

●誰でも取り扱いできるようにパウチして浄水器につける。

●参加者全員が説明書をもとに、浄水器の操作方法を確認する。

グループ

E

みのわ まもりんピック

目的

防災運動会を企画し、子どもが参加できる（若い世代）事業を増やす

対象者

町内全員

協力者

愛知ネット、危機管理課、体育委員、スボ進、学校の先生

※会場は三河安城小学校を予定

内容

種目 ・段ボールベット作り・車いす（荒地）

・バケツリレー・防災用品の借り物・消火器ゲーム

調査 ・知立や大府で実施していた自治区へ話を聞く

・東栄や今本で2024年11月に実施したイベント実施のヒアリング

検討 ・災害時に必要な物はなにか（大人～子ども）